

令和8年度

「運営に関する計画」

大阪市立加賀屋東小学校

令和8年4月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

(全国学力・学習状況調査・全国体力・運動能力、運動習慣等調査・大阪市学力経年調査の結果を踏まえて)

1 学力・学習状況について

○全国学力・学習状況調査および大阪市学力経年調査の結果から、本校児童の学力は学年・教科によって差が見られる状況である。

国語・算数の平均正答率については、全国平均と概ね同等、または一部学年では下回る結果となっており、特に学力に課題の見られる児童の割合が依然として高い学年が存在する。

内容面では、国語では「文章の読解」「考えを整理して表現する力」、算数では「数量関係の理解」「学習した内容を活用する力」に課題が見られる。一方で、経年調査では学年によっては改善傾向も見られ、継続した授業改善が成果として表れ始めている。

○各種調査結果から、「授業が分かる」「先生はよいところを認めてくれている」と回答する児童の割合は高い一方で、「学級の友達との話し合いを通して、自分の考えを深めたり広げたりしている」と感じている児童の割合は、全国・大阪市平均を下回っている。このことから、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善をさらに進めていく必要がある。

2 体力・運動能力、運動習慣について

○全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果では、男子は体力合計点において全国・大阪市平均と概ね同等、または上回る種目も見られる一方、女子は体力合計点が全国・大阪市を下回る傾向があり、男女差がある。また、「運動やスポーツは好き」と答える児童は多いものの、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合が高く、運動習慣が体力向上に十分結びついていない現状がある。さらに、朝食摂取や平日のスクリーンタイムなど、生活習慣面に課題が見られ、家庭と連携した取組の必要性が感じられる。

3 学校生活について

○不登校児童数は複数名在籍している。また、いじめの認知もあるため、今後も継続的な見守りとともに、「いじめ見逃しゼロ」を合言葉に早期発見・早期対応していく必要がある。教職員のいじめ対応に関する認識は高く、組織的な対応体制は整っている。

また、「学校に行くのは楽しい」と回答する児童の割合は一定水準を保っているが、すべての児童が安心して学校生活を送れているかという視点での丁寧な見取りが求められる。

4 教育環境・ICTについて

ICT活用は少しずつ進んでおり、個別最適な学びや教育DXを進める基盤は整いつつある。

以上の現状や課題を踏まえ、全教職員が共通理解のもと、「誰一人取り残さない」学校運営を進めていく必要がある。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和 11 年度全国学力学習状況調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。
(令和 7 年度：78.3% (37.0+41.3))
- 令和 11 年度全国学力学習状況調査における「困りごとや不安がある時に学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。
(令和 7 年度：69.6% (41.3+28.3))
- 令和 11 年度の不登校児童の在籍比率を 1%未満にする。
(令和 7 年度：3.38%)
- 令和 11 年度全国学力・学習状況調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。
(令和 7 年度：84.8% (43.5+41.3))

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和 11 年度全国学力・学習状況調査における平均正答率の 対全国比（国語）と同等にする。
(R6：0.87 R7：0.99)
- 令和 11 年度全国学力・学習状況調査における平均正答率の 対全国比（算数）と同等にする。
(R6：0.90 R7：1.02)
- 令和 11 年度全国学力・学習状況調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。
(令和 7 年度：76.1% (30.4+45.7))
- 令和 11 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、体力合計点の対全国比を男女ともに上回る。
(令和 7 年度：男子 1.01(学校 53.7/全国 53.0) 女子 0.94(学校 50.9/全国 54.0))

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和 11 年度大阪市小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取り組みをしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。
(令和 7 年度：66.3%)
- 令和 11 年度大阪市小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週 3 回以上と回答する児童の割合を 80%以上にする。
(令和 7 年度：60.2%(1 日複数回+1 日 1 回+週 3 回))
- 令和 11 年度末において、「学校園における働き方改革アクションプラン」に基づき、教員の 1 か月あたり平均時間外勤務時間を 20 時間以下にする。
(令和 7 年度：教員一人あたり平均時間外勤務時間 22 時間 00 分※R8.2 末時点数値)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を **82%**以上にする。
(令和7年度：80.0%)
- ・小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を **70%**以上にする。
(令和7年度：63.6%)
- ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を **前年度より減少**させる。
(令和7年度在籍比率：3.38% 11/325)
- ・小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を **80%**以上にする。
(令和7年度：77.5%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・大阪市小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も **前年度より 0.01 ポイント向上**させる。
(令和7年度：3年 0.87 4年 0.94 5年 0.92 6年 0.97)
- ・大阪市小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も **前年度より 0.01 ポイント向上**させる。
(令和7年度：3年 0.88 4年 1.10 5年 0.95 6年 0.97)
- ・大阪市小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を **75%**以上にする。
(令和7年度：73.3%)
- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに **前年度より 0.01 ポイント向上**させる。
(令和7年度：男子 **1.01**(学校 53.7/全国 53.0) 女子 **0.94**(学校 50.9/全国 54.0))
- ・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を **90%**以上にする。
(令和7年度：86.3%)

【学びを支える教育環境の充実】

- ・大阪市小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取り組みをしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を **70%**以上にする。
(令和7年度：66.3%)
- ・大阪市小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を **70%**以上にする。
(令和7年度：60.2%(1日複数回+1日1回+週3回))
- ・教員の1か月あたり時間外勤務時間が、月45時間を超える教員をゼロ、30時間を超え45時間以下の教員を前年度より減らす。
(令和7年度：教員の時間外勤務時間45時間超1名、30時間を超え45時間以下の教員9名)

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式2)

大阪市立加賀屋東小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、<u>肯定的に回答する児童の割合を 82%以上にする。</u> (令和7年度: 80.0%)・ 小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、<u>肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。</u> (令和7年度: 63.6%)・ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を <u>前年度より減少</u> させる。 (令和7年度在籍比率: 3.38%)・ 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、<u>肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。</u> (令和7年度: 77.5%)	

年度目標の達成に向けた取組内容、達成状況を測る指標	達成状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>児童がお互いに協力して活動する中で、認め合ったり自分のよさを伸ばしたりしながら、「学校は楽しい」と感じられるようにする。また、体験学習や外部人材を招いた出前授業を取り入れることで、児童の生きる力の基盤を育む。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none">・ 年間12回以上の集会活動やたてわり活動(年2回以上)、クラスでの当番活動を実施し、児童の自己有用感を育む。・ 各学年において、校外での体験学習や外部人材(地域人材を含む)を活用した出前授業を全体で年間18回以上を実施する。	
<p>取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>計画的に教育相談(S・Cを含む)を行うとともに、日常の関わりの中で児童の良さを認め、安心して話せる関係づくりを進める。また、学年担当・養護教諭・通級担当者等が情報を共有し、困りごとや不安の早期発見・早期対応につなげる体制を整える。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none">・ 心の天気の入力を前年度より実施率の向上を図る。・ 人権推進委員会における月1回の情報共有の実施。	

<p>取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>安心して通える学習環境を整えるとともに、児童一人一人の状況に応じた支援を図り、継続的かつ組織的な支援を行う。また、毎月、人権教育推進委員会(校内委員会)を実施し、児童の情報を学校全体で共有するとともに、支援体制の充実を図る。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校傾向のある児童に対して、個々の状況や課題を踏まえた支援計画を作成する。 	
<p>取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>児童が自発的に行う活動を通して、互いの立場を理解し認め合い、支え合いながら問題解決に取り組む集団づくりを進める。また、振り返りや役割活動を通じて、自分を見つめる機会や他者から認められる場を設定し、自分の良さや成長への肯定的な気づきを高める。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学級において、授業や学級活動、朝の会・終わりの会等の中で、1日1回以上、自分や友だちの言動を振り返り、良さを認め合う場を設定する。 ・児童集会や当番活動、たてわり活動において、児童が役割をもって主体的に活動できる場を設定し、自己有用感の高まりを育む。 	
<p>年度目標や取組内容の達成状況の結果</p>	
<p>○年度目標</p> <p>○取組内容</p>	
<p>来年度への改善点</p>	
<p>○年度目標</p> <p>○取組内容</p>	

大阪市立加賀屋東小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪市小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も 前年度より 0.01 ポイント向上 させる。 (令和7年度: 3年 0.87 4年 0.94 5年 0.92 6年 0.97) ・大阪市小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も 前年度より 0.01 ポイント向上 させる。 (令和7年度: 3年 0.88 4年 1.10 5年 0.95 6年 0.97) ・大阪市小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75% 以上にする。 (令和7年度: 73.3%) ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに 前年度より 0.01 ポイント向上 させる。 (令和7年度: 男子 1.01(学校 53.7/全国 53.0) 女子 0.94(学校 50.9/全国 54.0)) ・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90% 以上にする。 (令和7年度: 86.3%) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、達成状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 個に応じた指導を充実させ、基礎的・基本的な内容を確実に定着させる。</p> <p>指標 ・加東タイム【1回 15分】を活用して、週2回以上四則演算のマス計算及び漢字の復習に取り組む。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、話型を基に話し合い活動を行う。</p> <p>指標 ・1日1回以上、ペアやグループでの話し合い活動を行う。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】 体育の授業において、走る・跳ぶ・投げるなどの基本的な動きを取り入れた運動を継続的に行い、基礎体力の向上を図る。また、運動遊びやゲーム性のある活動を取り入れ、児童が楽しみながら体を動かす機会を増やす。</p>	

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「なわとびタイム」と「かけ足タイム」を合 わせて年間6回以上実施する。 ・学校生活アンケートにおける「からだを動かすことが好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。(令和7年度：86.9%) 	
<p>年度目標や取組内容の達成状況の結果</p>	
<p>○年度目標</p> <p>○取組内容</p>	
<p>来年度への改善点</p>	
<p>○年度目標</p> <p>○取組内容</p>	

大阪市立加賀屋東小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪市小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取り組みをしていますか。」に対して、<u>肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。</u> (令和 7 年度: 66.3%) ・大阪市小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、<u>週 3 回以上と回答する児童の割合を 70%以上にする。</u> (令和 7 年度: 60.2% (1 日複数回+1 日 1 回+週 3 回)) ・<u>教員の 1 か月あたり時間外勤務時間が、月 45 時間を超える教員をゼロ、30 時間を超え 45 時間以下の教員を前年度より減らす。</u> (令和 7 年度: <u>教員の時間外勤務時間 45 時間超 1 名、30 時間を超え 45 時間以下の教員 9 名</u>) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、達成状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 6 教育 DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】 ICT 機器の視覚的なとらえやすさや、何度も繰り返しできるなどのよさを有効的に活用し、児童の学習の理解度を高めていく。また、連絡帳等として持ち帰り、家庭でも活用する習慣をつけさせる。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人 1 台学習者用端末のスクールライフノート(こころの天気など)を毎日活用する。 ・長期休業(夏季・冬季)の課題に一人 1 台学習者用端末を活用する。 ・「教員の ICT 活用指導力の状況」調査において、肯定的に回答する教員の割合を 80%以上にする。(令和 8 年度 4 月: 76%) 	
<p>取組内容②【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】にのっとり、専門スタッフを活用することで仕事の分散を図り、時間外勤務を減らすようにする。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度より、時間外勤務時間を減らす。 ・ゆとりの日「ノー残業デー」を週に 1 回、主として水曜日に設定し、17 時 30 分までに退勤する。 	

年度目標や取組内容の達成状況の結果	
○年度目標	
○取組内容	
来年度への改善点	
○年度目標	
○取組内容	